

曹洞宗

## 群馬県宗務所 第13教区報

第11号

令和5年1月1日発行

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和4年は、13教区独自の行事「微笑会」が3年ぶりに開催できました。また、向陽寺・光厳寺で晋山結制という大行事が行われるなど、コロナ禍を乗り越える兆しの見られた年でした。

しかし、ロシアによる「ウクライナ侵攻」という世界を揺るがす戦争が起こり、多くの民間人及び双方の多くの兵士が犠牲となっています。皆さんもずっと心を痛めているのではないのでしょうか。とにかく一日でも早く平和的に解決してほしいと願うばかりです。遠く離れた日本にいる私たちにも、できることがまだあるはずです。他人事と考えず、人々の幸せを祈って行動いたしましょう。

## お寺に防犯カメラ??

新聞等でご存じの方も多と思いますが、一昨年から昨年にかけて群馬・埼玉でたくさんの寺院が、深夜の忍び込みによる窃盗被害に合いました。警察等の努力のおかげで、犯人の多くは逮捕されたようですが、10代から20代の若者ばかりで驚きました。このことから、多くの寺院が防犯カメラの設置など、セキュリティ対策を施しています。お寺に防犯カメラは似合いません。また、お参りの方に不快な思いをさせてしまうかもしれません。しかし、人に罪を作らせてしまう前にやめさせることが必要だと考えます。お寺で防犯カメラを見かけても、「みんなを守るためのもの」と理解していただければと思います。

## 一期一会仏画展

5月17日～22日にふれあい写仏の会主催「第4回一期一会仏画展」が富岡市立美術博物館にて開催されました。そこでは、細谷義昭先生にご制作いただいた、イタリア普伝寺へ贈る「釈迦十六善神図」もお披露目されました。先生方や生徒さんの作品に約1200名の来場があり、盛会裏に終わられました。次回も同会場にて秋頃に開催予定だそうです。

曹洞宗群馬県宗務所第13教区長  
永隣寺住職 堀口元澄

この子が手にするのは、皆さんの浄財から贈られた文房具です。



## 第13教区並びに12教区では、引き続きウクライナ避難民支援活動を行います。

詳細は5ページをご覧ください

ご支援いただける方は、募金箱を置いている寺院もありますので、そちらに募金を預けるか、右記の口座まで郵便局から振り込んでください。

口座記号番号 00240-6-107091  
加入者名 曹洞宗群馬県宗務所第13教区  
通信欄 ウクライナ避難民支援募金 とご記入ください。



# ヨーロッパ通信

曹洞宗ヨーロッパ国際布教総監部総監 峯岸正典

スウェーデンからポルトガルまで、現在、ほぼ現地の人だけで475名を超える曹洞宗僧侶が活動しており、得度式（お坊さんとなるための儀式）を挙げる人も増えています。

スペインのセビリア空港から車で1時間くらいの所にある清久寺には番地がありません。とにかく人里離れた平原にお寺があります。寄進された土地に、既存の建物を補修増築し、周りに果物やオリーブの木を植えてきたそうです。見渡す限り平らなので夕日が大きく、お月様が指先に触れるのではないかと感じた人もいます。真夏に訪れたときは暑さと乾燥で下草が枯れていましたが、一月頃には花がきれいに咲くと伺い、同じ北半球でも、日本とは大分異なると思いました。

第13教区のご寺院、檀信徒の皆様によるウクライナ支援のための御朱印活動をローマで開かれた「平和の祈りの集い」（10月23日～25日）でもお話ししました。また、大般若贈呈計画も折に触れて話題となります。普伝寺（イタリア）の皆さんも合同法要の実現を楽しみにしています。

欧州に坐禅の種がまかれて五十五年、坐禅の心地よさ、言葉を超えての安心、仏教の教えの受け入れやすさ等を背景に、着実に坐禅を実践する人が増えているように思います。第13教区の皆さんの活動に関わり合いながら、欧州のお坊さんの支援ができることは大変に恵まれたことだと心より感謝しています。



## フランス 禅道尼苑にて集合写真

禅道尼苑…1979年に、ヨーロッパで禅の普及のために弟子丸泰仙師により開設された道場。沢山僧侶がいますが、1列目真ん中あたりに峯岸正典老師がいます

13 教区 31 ヶ 寺 院	富岡	菅原	南井	上下	下尾	宇田	宮崎	宮崎	一宮	下宮	富岡	岡本	下田	本宿	中坂	南村	檜沢	甘楽	轟引	天引	小幡	善慶	国慶	国慶	白倉	小川	秋川	秋川	小天	秋引	高崎	上奥
	陽雲寺	最興寺	長学寺	生壽寺	永隣寺	金乗寺	神守寺	桃林寺	永乘寺	三會寺	連珠寺	光厳寺	海源寺	福壽寺	長楽寺	延命寺	永昌寺	宝積寺	向陽寺	宝泉寺	福巖寺	興巖寺	長善寺	松泉寺	宝林寺	天徳寺	西光寺	松慶寺	寿福寺	泉龍寺	宗伝寺	

## 第16回微笑会

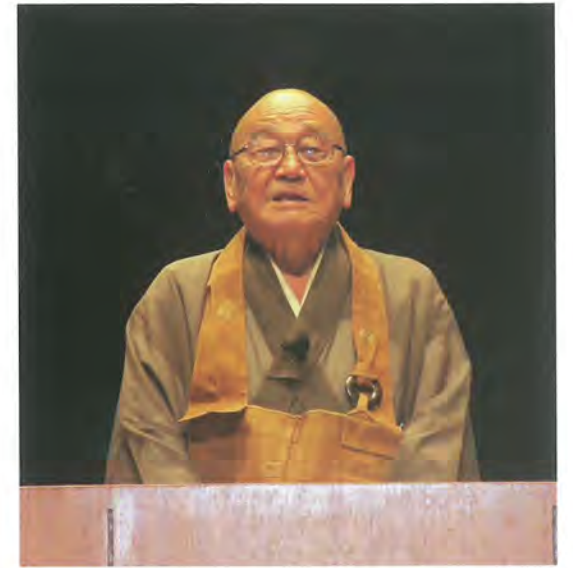
日時：令和4年6月26日(日)

甘楽町文化会館において、第16回微笑会が開催されました。

コロナ禍の為、3年ぶりの開催となった今回は、大本山永平寺別院 長谷寺 専門僧堂 堂長であります、静岡県 林叟院 御住職 鈴木包一老師を講師としてお迎えいたしました。

コロナ対策のため、座席数を減らした中での講演でしたが、多くの方にお集まりいただきました。

また、開会前には教区の事業であります「ウクライナ難民支援活動」の報告がポーランドへの支援窓口をしていただいているアンドリュウ夫妻からなされ、多くの方より浄財もお預かりいたしました。



### ◆第17回微笑会は以下の日程で開催予定◆

日時：令和5年6月17日(土) 午後2時開演  
会場：甘楽町文化会館  
講師：新潟県 東龍寺住職 渡邊宣昭老師  
入場無料 どなたでも参加できます  
微笑会ホームページアドレス  
<http://misyoue.main.jp>



### アンドリュウ夫妻よりコメント

ロシアのウクライナ軍事侵攻により人々の平穏な生活は一瞬にして奪われました。

幼い子どもたちまでもが命を奪われ、未だ世界は深い悲しみに包まれています。

そのような中ウクライナ難民支援御朱印で集まった支援金をもとに、ポーランドにいるウクライナ避難民の方々にたくさんの物資を届ける事ができました。この先もこの活動を通して、一人でも多くのウクライナの方々が救われ、生きる夢や希望を与えられることができたらと願っています。



## 東北被災地支援活動

日時：令和4年7月29日

宝林寺住職山崎英俊師が、以前から交流のある岩手県陸前高田市の仮設住宅で暮らしていた方々のもとへ、この写真には写りきれないほどのたくさんの物資（お米、ジャガイモ、洗剤やマスクその他の日用品）を届けました。

今年で震災から12年、十三回忌の年となります。13教区内外から僧侶の有志を募って現地に行き、仮設住宅で暮らしていた方々をお招きして「十三回忌慰霊法要」を営ませていただく予定となっています。



## 大般若経イタリア普伝寺寄贈プロジェクト

### 〈大般若経へのご芳名記入作業〉

7月末に大般若経全600巻にご寄付いただいた日伊合わせて1576名のご芳名を記入する作業を行いました。1巻につき2、3名のご芳名を順不同にて紙に書き、ノリで貼っております。これからイタリアの普伝寺へ渡り、皆様のお名前が書かれている大般若経が100年、200年と現地で使われ、ご祈禱されることとなります。



### 〈大般若経発送〉

2月末に大般若経がイタリア普伝寺に到着するように発送を計画しています。

事業発足当初の予定では大般若経の到着に合わせて、皆様に募集を掛けてイタリアへの団体旅行を計画していましたが、依然として収まらない新型コロナウイルスの流行とロシアのウクライナ侵攻の問題によって団体旅行は延期せざるを得ない状況が続いています。しかし、ただ普

伝寺へ大般若経を贈れば良いという訳ではなく、これから使い続けていただけるように、大般若経に関する「法」「教え」「伝統」も同時に伝えることが我々僧侶の一番の使命です。そこで、まずは先遣隊として若干名の僧侶が大般若経到着後の3月初旬に普伝寺へ赴き、ヨーロッパ国際布教総監峯岸正典老師と共に現地僧侶へ指南して参りたいと思います。

イタリアへの旅行を楽しみにされていた方々には申し訳ございませんが、皆様が安心して旅行できるようになったら必ず団体旅行を計画致しますので、ご理解の程お願い申し上げます。

### 〈普伝寺僧侶のデロサリオ信行師来日〉

10月に普伝寺の僧侶、デロサリオ信行師が瑞世の儀式の為に来日されました。瑞世とは曹洞宗の僧侶が各々の師僧から法を嗣いだ後、両大本山に拝登する一生に一度の儀式です。これによって木蘭色のお袈裟を掛けられるようになります。海外の曹洞宗の僧侶も同様にこの儀式を行います。

信行師は横浜総持寺での瑞世を終え、福井永平寺への拝登の間の3日間を下丹生永隣寺にて滞在されました。滞在中には、現在長学寺で保管されているイタリアへ贈る大般若経と釈迦十六善神図をご覧いただきました。実物を見て、普伝寺での保管場所を考えるなど、期待を膨らませていました。普伝寺に戻ったら皆と相談して準備を始めるそうです。永隣寺では一緒に庭木の剪定や草鞋作りなどをされていました。

また、本堂の新築を予定しており、今年より建設が始まるとのことです。

普伝寺本堂建設予定地→



## ウクライナ難民支援活動

昨年2月より始まったロシアのウクライナ侵攻によって、子どもや民間人を含め多くの犠牲者が出ており、また数百万人が国境を越え難民となり、苦しい生活を余儀なくされています。この問題に対して13教区として出来ることを考え、4月8日～6月30日まで限定御朱印の授与を行うことを試みました。多くの寺院の協力を得ることが、大きな力になるだろうと隣接の12教区にも協力を依頼することとなり、両教区合わせて富岡市、甘楽郡、安中市、高崎市、4市町村にある18ヶ寺での御朱印授与と、17ヶ寺の募金箱の設置協力が得られ、計33ヶ寺による支援活動となりました。



お陰様でこの難民支援活動が新聞やテレビ等にも取り上げられ、約3か月間の活動で250万円以上の支援金が集まりました。この支援金を長学寺と親交のあったポーランド出身のアンドリュー夫妻が、現地の役所や避難所と連絡を取り、ウクライナ難民へ必要な物資を手配する活動を引き受けてくれました。現地との時差やシステム、仕事の習慣の違いからアンドリュー夫妻には大変ご苦労いただき、不眠不休に近い活躍のお陰で物資の支援経路も確保できました。また、アンドリュー氏のポーランドの親戚の方々による多大な協力もこの支援活動を強力に支えてくれました。物資は主に食品ですが、避難所には子供たちも多く、クレヨンや画用紙、チョコレート等の要望もあったそうです。我々の活動が現地でも注目され、ポーランドのシェラツ郡より表彰を受け、記念の楯と避難所の子供達書いた絵とモタンカというウクライナの伝統的な手作り人形を戴きました。未だに終わりが見えない争いとなっており、現在も募金箱を設置し継続的に支援を行っております。



モタンカというウクライナ伝統の御守り人形

避難所の子供達書いてくれた絵



## 向陽寺 晋山結制

日時：令和4年5月28日～29日

甘楽町天引 向陽寺において、五月晴れの空の下、新しい住職を檀信徒が迎え入れる「晋山式」、住職が弟子をとり大和尚の法階につく「結制」をあわせて行う「晋山結制」が修行されました。

主賓である西堂老師に御本寺仁叟寺様、弟子となる首座に神流町龍松寺徒弟を迎え、多くの御寺院様とともに、一世一代の行事が盛大に修行され、新命住職より感謝と決意の言葉が述べられました。



## 光厳寺 退董式・晋山結制

日時：令和4年10月22日～23日

富岡市下高瀬 光厳寺では、松倉紘洋老師の退董式（住職を退任される儀式）を厳修し、松倉泰洋師が第三十六代目住職に就任されました。西堂老師に前橋市の釈迦尊寺様、弟子となる首座に高崎市恵徳寺徒弟を迎え、盛大に執り行われ、新住職の力量が試される問答は堂々とした受け答えが繰り広げられました。

## 第9回 寺院に親しむ講座

日時：令和4年11月24日

甘楽郡下仁田町 長楽寺を会場に寺院に親しむ講座が3年ぶりに開催されました。23名が参加し「坐禅とヨガの体験」を行いました。秋晴れのさわやかな空気のなか一緒に坐り、身心が調う、安らかな時間を過ごすことができました。

写真はヨガ体験のしかばねのポーズ



ウクライナ支援や大般若経プロジェクトは左記13教区ホームページからご覧になれます  
<http://gunma13.main.jp/>